

◎本会の動き◎

☆化学工学会第52回秋季大会 「女性技術者ネットワーク」報告☆ (2021年9月23日 岡山大学並びにオンライン)

化学工学会第52回秋季大会において、男女共同参画委員会の企画として、「女性技術者ネットワーク」を大会2日目のお昼にオンラインの一般公開セッションとして開催しました。今回は秋季大会の開催会場である岡山大学における男女共同参画の取り組みについてご紹介いただきましたのでご報告します。

2021年9月23日 12:10～13:00開催

①今村維克氏 岡山大学男女共同参画室

「岡山大学における男女共同参画の取り組み～ウーマンテニュアトラック制度について」

②根本理子氏 岡山大学学術研究院環境生命科学学域

「生体鉱物に魅せられて」

今村先生のご講演では、岡山大学ダイバーシティ推進室の様々な取り組みが紹介されました。中でも特徴的な支援が、「ウーマンテニュアトラック (WTT) 制度」です。この制度は、定年退官などで概ね5年以内に空位になることが決まっているポストを「前倒し」で女性教員 (WTT教員) を雇用するというもので、WTT教員の雇用を開始してから、元々ポストを占めていた教員が退官するまでの期間、WTT教員の給与は全学が負担し、雇用開始時には2年間のスタートアップ資金も措置されるそうです。WTT教員は、採用時に決められたテニュア付与基準を達成すれば任期満了後にテニュア教員となります。平成21年の運用開始から令和2年度までに26名のWTT教員が着任し、そのうち20名がテニュアを取得しており、残りの6人については、今後テニュア審査の時期を迎えるとのこと。

また、WTT制度と併せて、昇任が可能と評価された女性教員を上位ポストが利用可能になる前に昇任させる「ポストアップ制度」も備えるなど、女性研究者の増加させる・支援する多彩な仕組みが紹介されました。岡山大学では令和元年度から、「SHINEプログラム」がダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)として採択され、更なる環境整備が進んでいるそうです。一連の取り組みの結果、任期なし教員(教授、准教授、講師、助教。理系、文系全てを含む)に占める女性の割合は平成26年度の14.6%から令和元年には17.7%まで上昇したとのこと。また、長らく女性教授が不在であった理学部、農学部にも女性教授が誕生しているとのこと。

会場からは、失敗事例や課題は無いのか、という質問が寄せられ、それに対して、未だに課題山積であり試行錯誤の連続である



今村維克先生



根本理子先生

との回答がありました。総合討論では、今後、ダイバーシティ推進に関する情報交換の中で、失敗事例も含めた事例の共有が必要であるということが認識されました。

根本先生のご講演では、ご経歴と共に先生が進められてきた様々な生物が作る多岐に亘る生体鉱物(バイオミネラル)の研究について、ご紹介いただきました。優れた構造特性、力学特性などを示す生体鉱物の形成メカニズムの理解に向けて、質量分析装置、次世代ゲノムシーケンサーなどを活用したプロテオーム、トランスクリプトームなど集学的な解析アプローチをもとに、様々な研究を展開されていることが示されました。その中でも特に、ヒザラガイが持つ磁鉄鉱形成に寄与する生体分子の探索と機能解析について詳しくご紹介いただきました。ヒザラガイの歯舌組織に発現する遺伝子の網羅的な解析からFerritinなどの鉄結合性タンパク質やCytochrome Cなどのミトコンドリアの電子伝達系の複数のタンパク質、Radular teeth matrix protein 1 (RTMP1)などを同定され、鉱物形成に関与するタンパク質を明らかにしました。次に、RTMP1遺伝子の発現量をRNAiで抑制することで磁鉄鉱の形成に異常をきたすことが示されました。その他、様々な解析から、このRTMP1タンパク質がキチンに結合し、磁鉄鉱の沈着に寄与するモデルが提案されました。本研究は磁気特性の優れた材料、耐摩耗性材料の開発への応用にも繋がる大変興味深い内容です。また、女性若手研究者のトップランナーの一人として研究を進める中で、プライベートとの両立について率直なお考えをお話していただくなど、多くの聴講者の方々にとって共感できる素晴らしいご講演でした。

化学工学会男女共同参画委員会では、自然科学系女性技術者・研究者の抱えている様々な課題について情報交換をおこない、女性技術者・研究者のネットワークを作ることを目的に、2012年から年に数回、継続的に開催しております。2022年3月には、第87年会において女性技術者フォーラムの開催を予定しています。メルマガ等により開催内容をお知らせ致しますので、ぜひご参加いただけましたら幸いです。

(文責：宮崎あかね(日本女子大学)、田中祐圭(東京工業大学)、大河内美奈(東京工業大学))